

令和6年第12回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和6年12月20日(金)  
午後1時30分から午後2時16分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司  
教育長職務代理者 古 谷 広 明  
委 員 宮 崎 英 子  
委 員 安 河 内 由 香  
委 員 青 田 和 義

欠席者 なし

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳代子	中央公民館長	北 田 覚
スポーツ振興課長	河 井 一 敏	学校教育部長	田 中 義 久
次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義	学 務 課 長	横 田 純 一
書 記	神 田 崇 広		

会議の公開・非公開 公 開

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和6年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)  
(学校教育部長)

(要旨)

会期は11月28日(木)から12月16日(月)までの19日間であり、議案は、専決1件、一部改正条例6件、指定管理8件、補正予算3件、財産の取得1件、市道認定3件、市道廃止2件の合計24件である。

一般質問については18名からであり、うち教育委員会関係は6名であった。町田昌弘議員からは公共施設の空きスペースについて、金子広和議員からは小・中学校の体育館について、豊泉正人議員からは小・中学校における空調環境について、広山清志議員からは環境問題について、船川秀子議員からは教育と福祉の連携について、衣川千代子議員からは環境について、それぞれ質問があり、それ

に対する答弁の内容について報告がなされた。

・令和6年度博物館冬期企画展について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和6年度冬期企画展「-ものづくりの街 さやま - 収蔵品展 狭山市の人形」は、人形の文化や人形作りを通し、ものづくりのまち狭山を学んでもらうことを目的に、令和7年1月18日(土)から2月23日(日)まで開催するもので、収蔵品の中から狭山市内にあった人形店「川島屋」や岡野人形店のものなど、選りすぐりの人形を公開する。また、奥富公民館で開催される「奥富ひなまつり」より、段飾りと吊るし雛の特別展示も実施する。なお、チラシの表面の御殿飾りは、社会教育課職員の親族が持っていたものを、以前に、市に寄付してもらったもので、今回展示することとなった旨の報告がなされた。

・クロスカントリー in Sayama 2024 の開催結果について

報告者(スポーツ振興課長)

（要旨）

クロスカントリー in Sayama 2024 は、市制施行70周年記念の冠事業として開催し、14都道府県から1,085名のエントリーがあり、当日受付を済ませた976名のうち954名のランナーが完走した。今大会には、ゲストとして芸人の猫ひろしさんとホンダ陸上競技部の菅原伊織選手を招き、猫ひろしさんにはファミリーの部に、菅原選手には小学生5・6年生の男子の部と女子の部に、それぞれ子どもたちと一緒に走って大会を盛り上げてもらった。また、武蔵野学院大学陸上競技部の現役選手4名を招待選手として一般男子の部に、また、記録更新のためのペースメーカーとして各部門のレースに出走してもらった。大会の運営には、狭山市スポーツ協会の実行委員を初め、スポーツ推進員、武蔵野学院大学陸上競技部のメンバー、スポーツボランティアなど、前日の準備から当日の運営まで約250名を超える人に協力をいただき、大きなけがや体調崩した参加者などもなく無事に大会を終えることができた。なお、コロナ禍前のうどんの提供に代え実施した狭山産の里芋を使った芋煮の提供については、参加者には非常に好評であった旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、エントリー者数の最近の推移はとの質疑に、コロナ禍前までは、一番多い時には約1,100名のエントリーがあった。コロナ禍において、大会の参加種目を絞っていたが、昨年、コロナ禍明け、初めてファミリーの部を設定し、エントリー数は約700名程度になった。今回は、さらに約400名近く増えている旨の答弁がなされた。

委員からは、スタートの時点でしばらく様子を見ていたが、猫ひろしさんが走っている姿を楽しそうに応援していて、年々盛大になっていると感じる。ぜひ今後とも今の取り組みを続けてほしい旨の要望がなされた。

・令和6年度さやまっ子教育の日の取組について

報告者(教育指導課長)

(要旨)

令和6年11月9日(土)、市内公立小中学校及び幼稚園において、さやまっ子教育の日として学校公開が一斉に行われた。昨年度から、さやまっ子教育の日の終了後に各校へアンケート調査を実施し、各校からの取組の成果と課題や改善点を記述式で回答してもらった。今年度は幼稚園も入れて、全ての学校から回答があり、内容を確認すると、成果等は、各校が特色のある教育活動を実施できたことが伺える。また、課題としては、地域の方への公開、保護者などが参加できる取組、他の行事との日程調整などが挙げられている。このように各校で取組を振り返ることは、次年度、さらに、より良い方向になることに繋がるので、有意義な機会と捉えている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、南小学校の「人権感覚育成プログラムの授業」とはどのようなものかとの質疑に、人権感覚プログラムは埼玉県から示されている資料があり、それを基に各学年、そのプログラムを実施する。道徳の授業というような認識が多分大きいと思うが、その授業を通して豊かな心の育成を図ると確認している旨の答弁がなされた。今、道徳という言葉が出たが、いくつかの学校で道徳の一斉授業を実施しているが、公開授業で道徳をやる際にテーマを決めているのか。南小学校の場合、今回は人権であるが、他の学校では何かテーマがあるのか。保護者が来ることで子どもたちの成長を見せたいというような意図で実施しているのかとの質疑に、確認できていないが、以前、学校現場にいた際、一斉道徳を実施する場合には、例えば、学校研究で道徳を実施した時は、テーマを絞り行っていたと思うが、確認しているのは、例えば、命に関する、命の大事さをテーマに一斉に授業を実施していることは確認しているので、テーマを設けている学校もあれば、テーマを設けずに実施している学校もあると認識している旨の答弁がなされた。委員からは、道徳の授業は、先生方にとっては大切な授業の一つだと思う。もし、一斉に実施するのであれば、何かこういうことについてやろうということで、指導案を作った際にはお互い指導案の段階で意見が言い合えることもあるので、ただ、道徳の授業をやってくださいというよりも、学校全体で取り組むのであれば、何か一つ指針みたいなものを作っていきのはいかがかなと感じた。もしよければ、そのような意見も出たということ伝えてほしい旨の要望が出され、事務局より、意見を承ったので現場には伝える旨の答弁がなされた。

・令和7年度狭山市立水富幼稚園の4歳児の学級編制について

報告者(学務課長)

(要旨)

水富幼稚園の4歳児の学級編制について、令和7年度の狭山市立幼稚園の入園の募集を10月15日から行い、11月1日に入園申請を受け付けたところ、入間川幼稚園5名、水富幼稚園1名という結果となった。これを受け、狭山市立幼稚園就園要領第6条第3項の規定では、いずれかの幼稚園において1学級の

園児数が 6 人に満たない時は、入間川幼稚園において学級の編成を行うものとする」と規定していることから、令和 7 年度の水富幼稚園の 4 歳児の学級編制は行わないこととなった。なお、今回、水富幼稚園に入園申請を行った 1 名の方については、水富幼稚園での学級編制は行わないことについて説明しご理解いただき、入間川幼稚園や近隣の幼児教育施設、保育所をご案内したところ、狭山市立笹井保育所に入所申請を行っており、所管課より 4 歳児であれば待機児童もいないことから、来年 4 月 1 日からの入所については問題ないと聞いている。令和 7 年 4 月 1 日に見込まれる狭山市立幼稚園の園児数は、入間川幼稚園では、4 歳児 5 名、5 歳児 11 名、合計 16 名を見込み、水富幼稚園では、4 歳児は学級編成を行わないことから園児ゼロとなり、5 歳児のみで 10 名となる見込みである旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、来年度の水富幼稚園の職員配置はとの質疑に、水富幼稚園の正規職員は、現在 4 名だが、3 名体制とし、1 名は入間川幼稚園に配置する。会計年度任用職員は、フルタイムが 1 名、短時間のパート 1 名で対応したいと考えている。なお、入間川幼稚園は 1 名増の 5 名体制となることから、令和 9 年度からの 3 歳児保育や夏休み等の長期休暇中の預かり保育などの前倒しを踏まえ調整を進めていく旨の答弁がなされた。

委員からは、水富幼稚園に申請した 1 名は、自分がボランティアで活動している未就園児のサークルに来ている子どもで、保護者は非常に残念がっている。上の子二人も水富幼稚園に通っていて、生まれた時から一緒に水富幼稚園に送り迎えしていた 3 人目の子どもも水富幼稚園に通わせたいという思いが強く、とても就園させたがっていた。自分の子どもをどこの幼稚園に通わせるかということは、保護者にとってとても大事なことである。入間川幼稚園も最後まで考えたが、運転免許を持っておらず、自転車で送迎できればと考えていたが、やはり遠いので断念したということであった。そういう思いの保護者がいたということをお伝えしたいとの意見がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）  
（中央公民館長）  
（スポーツ振興課長）

（要旨）

令和 6 年度第 2 回狭山市公民館運営審議会、令和 6 年度第 2 回狭山市文化財保護審議会、令和 6 年度第 2 回狭山市スポーツ推進審議会の開催結果について、その概要について報告がなされた。

委員からの質疑等では、公民館運営審議会の会議概要の中で、令和 6 年度上半期の事業開催数、参加者数は増加し、事業実施率は約 71%という説明であった。事業実施率が下がった理由はとの質疑に、事業実施率約 71%というのは、1 年間の総事業数に対して終了した事業数が 71%ということであり、前年度の上半期に比べると若干率は上がっている旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課長）

（要旨）

社会教育課関係 3 件、スポーツ振興課関係 1 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、「リッキーチャレンジカップ 2025 狭山ラウンド」は、継続の事業ということだが、例年、参加者はどれ位いるのかとの質疑に、昨年度、今年 3 月に同じ場所で実施したが、約 200 名のエントリーがあったと聞いている旨の答弁がなされた。「スマホ時代に知っておきたい電気と電波の基本について」は、回によって入場料等に違いがあるが、こういった違いかとの質疑に、入場料等が 1,000 円の回は、ラジオを自分たちで作ることになっており、材料の実費分を徴収するものである旨の答弁がなされた。

## 議 案

### 議案第 62 号 狭山市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則

狭山市立小・中学校職員服務規程の別表第 2 の 2 及び別表第 2 の 3 について押印を廃止し、様式の一部を変更すべく所要の改正をするため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、例えば、累計欄だけでもエクセル等を活用して自動計算できるシステムは不可能なのか、それとも検討する余地があるのかとの質疑に、各校の事務方からは、そのような電子化について研究していきたいという考えは出てきているが、まだ、実際には取り組んではいない状況である。今、ご意見をいただいたので、持ち帰り検討したい旨の答弁がなされた。

議案第 62 号については、原案可決した。

以 上